

令和6年度第1回旭川市音楽堂等運営協議会 会議録

- 【日 時】 令和6年12月17日（火） 午後6時30分～午後8時00分
【会 場】 旭川市大雪クリスタルホール 2階 レセプション室
【出席者】 委員：上野委員，熊谷委員，児玉委員，杉江委員，内藤委員，水野委員，
渡邊委員
市側：佐藤社会教育部長，吉川文化ホール担当課長，
市川大雪クリスタルホール館長，齋藤主査，辻村係員，長堀係員
【傍聴者】 なし
【会議資料】 ・令和6年度第1回旭川市音楽堂等運営協議会議案書
・旭川市大雪クリスタルホール利用状況各年比較（追加資料）

【会議要旨】

- 1 開 会
- 2 社会教育部長挨拶
- 3 議 事

（1）令和5年度旭川市大雪クリスタルホール利用状況について

- 〈議 長〉議事（1）について，事務局から説明願う。
〈事務局〉資料1に基づき説明。
〈議 長〉議事（1）について，意見等の発言を願う。
～意見等無し～

（2）令和6年度上半期旭川市大雪クリスタルホール利用状況について

- 〈議 長〉議事（2）について，事務局から説明願う。
〈事務局〉資料2に基づき説明。
〈議 長〉議事（2）について，意見等の発言を願う。
〈委 員〉利用状況がコロナの時期から回復していることは喜ばしいことであるが，利用の目標値があれば教えてもらいたい。目標値が無いのであれば，新しい文化会館との共存を考える上でも目標値があった方が良いのではないかと。
〈事務局〉各室の利用率など明確な目標値は設定していない。ただ，予算上では，クリスタルホールの管理運営に係る予算がおおよそ年間1億8～9千万円に対し，使用料収入は約3千2百万円，率にして17％程度を計上しており，これがひとつの目標値と捉えている。
クリスタルホールは，利用者と行政がそれぞれ50％の負担で利用いただく位置付けになっており，支出額からすると約9千万円の収入があることが理想だが，現実的には難しく，できるだけ利用率を上げて予算額に近づけたいと考えている。
〈委 員〉1年先の使用の申込方法について，コロナ前には，月に1回，申請者が一堂に会していたため，その場で話し合いによって日程の調整をすることができ，多くの団体が利用することができたように思う。
現在は，利用希望を伝えて，結果を待っているだけなので，どのような決め方をしているのか，利用者には分からない状況である。周囲の方から，いつ以前の方法に戻るのか，それとも戻らないのかという話を聞くことがある。そうした点はどのようにしているのか。
〈事務局〉現在は一斉受付として，毎月初日に，前月の月末までに提出のあった利用希望カードを集約し，利用を希望する日程が重なった場合は，館長がくじ引きを行って決定している。
〈委 員〉一斉受付は公開しているのか。
〈事務局〉参集を伴う集団受付を一斉受付に変更したのは，コロナの影響で人と人との接触を避けるためであったことから，非公開で行ってきている。

〈委員〉その点に不満がある方もいると思うので伝えておく。一堂に会した時には、日程が重なった場合、その場で日程調整の話し合いができたが、今は希望日が取れなかった場合、改めて別の日程を申し込む必要があり、その日程が既に他の団体に抑えられている場合もある。

くじ引きが公開されていないからということではないとは思いますが、不透明な部分もあり利用者の中には困っている方もいる。

〈事務局〉くじ引きの場面は非公開ということではなく、希望があれば同席を拒むものではない。抽選は厳正に行っているので、信頼してもらいたい。

〈委員〉これまで話し合いで上手くいっていたので、一堂に集まることで話し合いの場が持てれば、利用率にも少しは反映されるのではないかな。

〈事務局〉以前の集団受付では、抽選の際に団体から必ず一人の出席が必要であり、それが負担になる面があったと思われる。この場では、元の方法に戻す等を決めることはできないが、利用する皆様にとって一番良い方法で、かつ利用率も上がることで良いと考えている。

〈委員〉希望日が抽選に漏れた場合、クリスタルホールから午前10時過ぎに空いている日にちの連絡をもらい、午後1時までに次の希望を知らせることになるが、自分の団体は昼間働いている者が多く、その間に調整するのは色々大変であった。

〈委員〉先ほど数値目標設定を聞いた理由は、クリスタルホールの老朽化に強い危機感を持っているからである。市も限られた財源を様々なものに配分しなければならない中で、数値目標を設定し、達成することにより予算確保ができるのではないかと考えたからである。

ただ、逆に実績が目標値に達しない場合は、ホールが本当に必要なのかということにもなる。もちろん、そうならないことを期待するし、我々も応援していくということでもあると思う。

〈委員〉数値目標については前回も話題になったと記憶しており、設定した方がよいと考える。

同じく前回も話したが、現在はW i - F i 環境が不十分で、それが理由でクリスタルホールの使用を敬遠する場合もあると聞いている。W i - F i 環境の向上により、国際会議場はもとより音楽堂の利用率も上がると思うので、W i - F i 環境の充実を是非お願いしたい。

また、大会議室等は1年前から申請できるが、小さな会議室のみの場合は1年前には押さえられない。例えば、第1から第4会議室までをセットで借りる場合に1年前から使用申込みができる特例を作るなど、何か見直しを図ることで利用率が少し変わるのではないかな。

〈事務局〉全道規模、全国規模の公的な催事の場合は、1年以上前に全ての部屋の申請が可能な事前受付の対応を行っている。

〈事務局〉事前受付について補足すると、全道全国規模の公的な催事で全館利用の場合に可能としている。

通常は、大会議室は1年前から、小会議室は3か月前から申請できるが、提案のあった小会議室をセット使用することで3か月以上前から申込みを可能にするという点については、小会議室も利用率が高く、他の希望者が使用できない状況が生じる可能性もあるので、その点も含めて研究させていただきたい。

〈委員〉上川管内等の研究大会で、3年以上前にスケジュールを決めたい時に、それができないことがある。全道の研究会は3年前から押さえさせて貰ったが、上川管内規模であっても小会議室をまとめて借りる場合は、1年以上前に予約できるようにするなど、工夫してもらえるとありがたい。

(3) 令和6年度上半期自主文化事業実施状況について

〈議長〉議事(3)について、事務局から説明願う。

〈事務局〉資料3に基づき説明。

〈議長〉議事（3）について、意見等の発言を願う。

〈委員〉自主文化事業は、黒字を出し続けるのは難しいことと理解するが、アンケートの出演候補者リストをどのように選定しているのか不明である。アンケート結果のみで出演者が決まるわけではないと思うが、事業の結果を見ると、市民にとって魅力的な場合とそうでない場合がある。

例えば、クリスタル・ブラス等の地元の団体との制作型事業の場合、地元の連盟等と協力し、バックアップ体制でコンサートを開催することができれば、来場者が増える可能性もある。軽々しくは言えないが、地元の連盟等が希望するコンサートを自主文化事業とするなど、その団体や組織が宣伝や一定の集客に責任を持つような形に変えることで、来場者を増やす効果が期待できるのではないかと。

また、子ども向け企画を毎年開催しているのは、意識的に行っているのだと思うし、賛成である。

毎年メインとなる公演を決めて、それ以外の部分を工夫するような形をとることができれば、ニーズにあったものに近づけるのではないかと。

〈事務局〉事業の周知については色々な方法を考えながら行っているが、うまく集客につながらない場合もあり難しい課題である。今聞いた話を参考に、関係団体等の力を借りながらPRすることなども検討していきたい。

〈委員〉西川悟平さんのコンサートは有名な方なのに入場者が少なく残念であった。西川さんはジストニアという病気を克服されていることから、例えば施設関係の方などにダイレクトにチラシを配るなどのPRは行ったのか。

〈事務局〉西川さんのコンサートでは、関心を持ってもらえそうなターゲットとして、市内のピアノ教室に直接チラシを配布するなどPRに努めたところではある。

施設関係については、車椅子で利用できるスペースに限りがあるなど、設備や人員の面で障害のある方を数多く受け入れることは難しいため行わなかった。

〈議長〉子ども達に対するワークショップや、小学校でのアウトリーチを行っており、ホールに実際に来る人以外への功績も多々あると思う。小中学生等に音楽に親しんでもらうことで、クリスタルホールに足を運んでもらうきっかけにもなる。音楽会で聴く態度を学ぶなど、教育的な面もあるように思うので、これからもワークショップやアウトリーチなどを演奏会と関連させて、裾野を広げてもらいたい。

〈委員〉ホールの公演事業は、プロデュース力が問われると思う。例えば、北海道ではクリスタルホールでしか行わない演奏会を開催するなど、優れた企画があれば遠方の人でも来ると思う。ジャンルは問わないが、旭川の文化のためのホールとして、関係団体と連携したコンサートをやってほしいし、個人的に又は組織として協力することも考えたい。

〈委員〉この協議会の委員には様々なジャンルの方がいるので、自主文化事業の候補を決める際にバックアップできることがあると思う

〈委員〉自主文化事業は、昔はお金をかけて世界的に有名な演奏家を招いた華やかなものと、地元市民が頑張って良いものを作るものの二本立てのイメージであったが、今の予算はどのくらいか。例えば海外の有名な演奏家が来日した時に合わせて呼ぶようなことは、予算的には難しい状況なのか。

〈事務局〉令和6年度は事業費全体で約478万円の予算額となっており、有名又はは人気のある方ほど出演料が高額となるため、一つの公演にこのうちの多くを充てることは難しいのが現状である。

〈委員〉アンケートでは、高額な出演料が必要な方のコンサートを希望する意見もあると思うが、そのようなコンサートがあつてこそ旭川市の自主文化事業だと思う。近年はコロナの影響もあり難しい面があつたと思うが、コンサートの魅力があまり感じられず、興味はあつても他の用事を優先する場合も多いのではないかと。魅力的なコンサートであれば、愛好者は遠方であっても行く人がいるので、そう

した企画があればよいのではないか。

(4) その他の事業について

〈議長〉議事(4)について、事務局から説明願う。

〈事務局〉資料4に基づき報告。

〈議長〉議事(4)について、意見等の発言を願う。

〈委員〉これらの事業が立ち上がった頃は、それぞれが先進的な取組だと思ったが、長く続いていく中で、コロナの影響もあって、制度疲労しているのではないか。

その代表がホールメイトで、年会費1,500円のメリットがあるか疑問であり、今年度だと3公演全部の一般チケットを毎回2枚ずつ購入してようやく会費分となる。一般販売の前に席を取ることはできるが、即完売するような公演は多くないと思う。例えばリハーサルを聴くことができたり、演奏後に交流会などで交流できるといったメリットがあれば、もっと入会者が増えるのではないか。やはり、魅力的な演奏会を企画していくプロデュース力が必要で、我々もアイデアを出していかないとないと思っている。

〈議長〉リハーサルを見せる等は難しい面もあると思われる。

〈委員〉チケットを一般発売前に買えることは嬉しいことである。

(5) その他

〈議長〉議事(5)について、事務局から説明願う。

〈事務局〉(次の2点について説明)

・令和7年度に音楽堂(リハーサル室等含む)、大会議室、第2・第3会議室の照明器具のLEDへの更新を予定しており、音楽堂は令和8年1月・2月、大会議室は2月・3月、第2・第3会議室は2月を使用休止期間とする。

このため、令和4年度以降の同時期に使用実績のある団体等に対して、個別に案内文書を送付する予定で、既に当該団体等には電話で説明を行った。また、今後クリスタルホールのホームページでの周知も行う。

・令和7年度の自主文化事業については、令和6年と同じく公演事業(子ども向け含む)3本、その他の事業(市民参加型等)3本を予定している。なお、照明器具改修のため、冬休み期間に音楽堂が使用できないことから、毎年冬に開催していた子ども向けの行事は夏休みに行う予定である。

〈議長〉説明のあった事項について、意見等の発言を願う。

〈委員〉照明改修のため1・2月に音楽堂が使用できなくなることは、やむを得ないものと思う。ただ、毎年3月は利用が多く、合唱関係でも定期的に演奏会を開催する団体が多い。1・2月の使用休止により毎年3月に使用している団体が使えなくならないように調整していただきたい。

〈議長〉1・2月の使用分は、前年度、前々年度の実績を踏まえて調整はしていることと思う。

4 その他

〈議長〉事務局、委員より何かあるか。

〈事務局〉本運営審議会は、例年、年2回開催しているが、本日の議事で概ね報告すべき事項について御意見をいただいたため、特別に審議が必要な場合を除いて、今年度内は開催しない予定であるので承知いただきたい。

〈議長〉よろしいか。

～意見等無し～

5 閉会